

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				現状値(R3) ↓ 到達目標(R4)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	観光	①あゆを活用した旅行商品提供のための仕組みづくり	◎宿泊・観光事業者と連携したあゆ漁(友釣り、火振り漁、しゃくり漁、投網漁等)体験の旅行商品化及び他の河川アクティビティ(SUP等)との連携による体験メニューの拡充	1	火振り漁見学のメニュー化 体験型観光の拡大を目指して、観光業界と漁協の連携を強化	※四万十市 四万十市観光協会 (遊覧船組合) 四万十川中央漁協	遊覧船等観光業界への働きかけ、調整				火振り漁見学のメニュー化 ↓ メニュー化1件	
					2	体験メニューの商品造成 観光庁補助事業(サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業)での体験メニュー商品の造成 ※現在任意団体で申請中	※四万十町 四万十まちおこし応援団 地域おこし協力隊	企画提案(プロボ)	採択後、事業実施(5月頃～1月上旬まで)		事業の検証、商品化	体験メニューの商品化 ↓ 1件以上	
					3	体験メニューの商品造成を支援 ・県水産政策課が商品化の支援を行ったあゆ関連商品(東洋町:鮎釣り体験、いの町:川釣り体験、四万十町:火振り漁体験)に関するフォローアップ ・体験メニューの造成に対する支援	※水産政策課	あゆ関連の旅行商品のフォローアップ				あゆ関連の旅行商品数 3件(R3) ↓ 5件(R4)	
								市町村と連携した掘り起こし	実施主体との協議	メニュー化に向けた調整			
					4	体験メニューの商品造成 観光庁補助事業(サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業)での体験メニュー商品の造成 ※現在任意団体で申請中	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花夢 他町内の管理者が常駐するキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供				体験メニューの商品化 ↓ 1件以上	
					5	体験メニューの商品造成 観光庁補助事業(サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業)での体験メニュー商品の造成 ※現在任意団体で申請中	※四万十町 四万十まちおこし応援団 地域おこし協力隊	企画提案(プロボ)	採択後、事業実施(5月頃～1月上旬まで)		事業の検証、商品化	体験メニューの商品化 ↓ 1件以上	
					6	◎あゆ漁インストラクターや環境学習ガイドを担う人材の育成	◎あゆ漁インストラクターや環境学習ガイドを担う人材の育成	※協議会	取り組み内容について協議委員会と協議	インストラクター育成の要望確認	動画等も活用した指導の検討・実施	(今後設定)	
					7	◎友釣り体験で釣獲したあゆを調理・提供する宿泊及び飲食施設のリスト作成	◎友釣り体験で釣獲したあゆを調理・提供する宿泊及び飲食施設のリスト作成	※水産産業振興課 協議会	企画提案(プロボ)	あゆが食べられる飲食店等情報の収集・整理(5～8月)	HP等での情報発信	あゆを提供する飲食店等のリスト化 ↓ 30件以上	
									協議委員会との協議	提供に向けた仕組みづくり			
					8	◇駐車場や入川道等の整備	◇入川道の整備 ・入川道の案内看板設置や草刈等の維持管理の管轄漁協への委託 ・河川周辺の町有地や遊休地の調査	※四万十町 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	入川道の維持管理、看板設置等 遊休地等調査(R3から実施中) 活用可能な土地の整備等の検討、予算計上の検討				入川道の案内看板の設置数 15箇所(R3実施分) ↓ 20箇所
					9	◇トイレ案内マップの作成	◇トイレ設置場所の案内 ・四万十川財団の川遊びマップの活用(トイレ案内) ・仮設トイレ設置の検討	※四万十町 四万十川財団	川遊びマップの配布等によるトイレ設置場所の案内 活用可能な土地の整備等の検討、予算計上の検討 漁協等との調整、予算計上の検討				仮設トイレの設置 ↓ 設置の方向性の決定
					10	◎「食」を前面に出した観光キャンペーンへのあゆの活用	◎県の観光キャンペーンと連携したあゆを活用した自然・体験型観光商品や飲食店情報の発信	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会	高知県観光情報サイト「こうち旅ネット」(高知県観光コンベンション協会運営)内の体験プログラム検索ページ等において、あゆ漁体験などを含む自然・体験型観光商品等を発信(4月～) あゆが食べられる飲食店等情報のHP等での情報発信(水産産業振興課)開始にあわせて「こうち旅ネット」内にリンクを貼り、観光客向けに情報発信				No.2～No.4及びNo.7の目標と同じ
					11	◎都市圏などで開催される観光イベントでのあゆのPR	◎都市圏などで開催される観光イベントでのあゆのPR	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会	都市圏などで開催するマスコミとの情報交換会や旅行会社向け観光説明会においてあゆを含む高知の食をPR(6月頃～12月頃)				↓ 季節に合わせて、情報交換会等で紹介
					12	①観光客にあゆを食べてもらおう仕組みづくり	◎あゆを提供している飲食店情報のリスト化及び情報発信	※四万十町 町内飲食店	(アンケート調査実施済)	町HPへのあゆ提供飲食店の掲載と情報更新			
13		◎あゆが食べられる飲食店情報の収集・発信 あゆが食べられる飲食店等の情報を収集・発信	※水産産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	企画提案(プロボ)	あゆが食べられる飲食店等情報の収集・整理(5～8月)	HP等での情報発信	SNS・HPでの記事・動画閲覧数 ↓ 10万件以上						
14	◎宿泊施設や飲食店での個人観光客向けの利きあゆ会の実施	◎宿泊施設や飲食店での個人観光客向けの利きあゆ会の実施	※四万十市 四万十川西部漁協 四万十川漁業振興協議会 道の駅よつて西土佐	四万十川漁業振興協議会(河川5漁協が加盟)で提起調整 日曜市での販売に向けた関係者との協議・調整・実施				日曜市でのあゆの販売 ↓ 販売の実現					

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				現状値(R3) ↓ 到達目標(R4)					
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期						
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	①観光客にあゆを食べてもらおう仕組みづくり	◎キャンプ場やアクティビティ施設等と連携した観光客へのあゆの提供	15	観光等複合拠点へのあゆの提供 モンベルアウトドアビレッジ本山のハーベストテラスのバーベキューの食材としてあゆを提供	※嶺北漁協	ハーベストテラスでのあゆの提供				アユの出荷数 180匹 ↓ 200匹					
								出荷準備(解禁日まで) → あゆの出荷(6月～10月) → 来年度のあゆの漁獲にかかる電源公社との協議									
								16	あゆ及び加工品の販売 道の駅で常時天然あゆの塩焼きを提供するとともに、バーベキューの食材として地域内のアクティビティ施設と連携してあゆ及び加工品を提供	※四十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	道の駅での焼きアユ販売				新商品の開発件数 1件 ↓ 1件		
											地域内施設と連携したあゆ及び加工品の提供						
								17	キャンプ場でのあゆの提供 オートキャンプ場ウエル花夢で予約制であゆの提供の実施	※四十町 町内飲食店	あゆ提供の情報発信と提供場所の追加に向けた協力依頼等の実施				あゆの提供数 ↓ 10件		
											イベントの開催に向けた調整 → あゆを用いた食の販売イベントの開催 → あゆを用いた食の販売イベントの開催						
		18	◎県内飲食店でのPRイベント等による誘客	※四十町 町内飲食店	イベントの開催に向けた調整 → あゆを用いた食の販売イベントの開催 → あゆを用いた食の販売イベントの開催				イベントの開催回数 1回 ↓ 2回以上								
		2	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	②県外の飲食店で高知のあゆを食べてもらおう仕組みづくり	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの販売促進	19	県外での販売促進 町地産外商室を通じた県外でのあゆの販売流通促進	※四十町	町地産外商室による販売促進活動				販売促進の取組の実施 バイヤーの招へいの実施 ↓ バイヤーの招へいの実施 ↓ あゆを扱う県内参画事業者の商談会への参加 3回 ↓ 4回以上			
										20	「高知家の魚応援の店」への外販活動 全国の「応援の店」に対して、きめ細やかな営業活動やオンラインを活用した商談機会の提供を通じて、あゆの販路開拓・販売拡大を実施	※水産業振興課 地産外商公社	「高知家の魚応援の店」への営業活動の実施				
													県内参画事業者の情報収集 → 産地見学会(1回・18店舗)・産地招へい(7社)の実施 → 県産水産物オンライン試食商談会(東京2回、大阪1回)の実施				
21	四万十川のあゆの販売拡大 ・「高知家の魚応援の店」と連携した天然あゆの提供 ・豊洲市場への活あゆ等の直送									※四十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	実店舗での天然アユ提供				豊洲市場へのあゆ出荷量 211.5kg ↓ R3同程度の量を出荷		
											豊洲市場への活アユ等出荷						
22	◎「まるごと高知」を活用した高知のあゆのプロモーション活動の展開	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産業振興課	あゆ王国高知の取り組み発表をリリース→メディアへの取材誘致 → 露出獲得 → メディアを集めた試食会の開催(7月) → あゆの加工品などの情報を発信(10月) → あゆにまつわる環境保全活動などを発信(1月)				情報発信 R3:0回 ↓ R4:3回										
			企画立案・調整 → 7月下旬～8月 あゆフェア → ②レストランあゆと土佐酒の提供 → ③物販 関連商品販売														
23	◎「まるごと高知」を活用した高知のあゆのプロモーション活動の展開	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産業振興課	あゆフェアの開催 ①レストランであゆと土佐酒の提供 ②物販であゆ関連商品の販売 ①②を合わせて「高知あゆフェア」と題して2週間程度開催する				店舗プロモーション活動 0回 ↓ 1回										
3	高知県民があゆを食べる機会づくり	◎県内イベントでのあゆのPR及び提供	24	各種イベント等でのあゆの塩焼きの販売 西土佐ふるさと祭りをはじめとする県内の各種イベントに出店しあゆの塩焼きを販売	※四十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	各種イベント等での天然アユ販売				イベントへの出店回数 2回 ↓ 5回							
						25	漁協によるイベントへの出展 四万十川上流淡水漁協によるイベント出店	※四十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	高知市中央公園等で行われる食のイベントへの出展(豊稷祭、ふるさとまつり、土佐のおきやく等)								
									豊稷祭、ふるさとまつり → 土佐のおきやく								
26	◎食育授業でのあゆの活用	※四十町 町内小・中学校、高校 給食センター	町内小中学校・高校の給食へのあゆ提供				給食でのあゆの活用 1回 ↓ 1回以上										
27	◎食育授業でのあゆの活用	※水産業振興課 学校給食会 漁協	学校給食会との協議(4月) → 小学校等での食育授業の実施(6月～12月)				食育授業でのあゆの活用 1回 ↓ 1回以上										
			漁協等への食材提供の協力依頼(4～6月) ※必要に応じて														
4	調理方法や食べ方の提案によるあゆの利用促進	◎宿泊施設や飲食店での塩焼き以外の多彩なメニュー(あゆ寿司、あゆ飯、一日干し、落ちあゆの塩煮等)のPR及び提供	28	宿泊施設や飲食店でのあゆメニュー開発・提供 ホテル奈半利をはじめとする宿泊施設や飲食店において、あゆを活用したメニューの提供を開始	※奈半利川淡水漁協 ホテル奈半利	あゆの提供について協議 → あゆ料理の提供開始 → 来年度に向けた改善の検討 → 新たな出荷先の開拓				宿泊施設等へのあゆの提供尾数 0匹 ↓ 100匹							

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				現状値(R3) ↓ 到達目標(R4)			
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	④調理方法や食べ方の提案によるあゆの利用促進	◎宿泊施設や飲食店での塩焼き以外の多彩なメニュー(あゆ寿司、あゆ飯、一日干し、落ちあゆの塩煮等)のPR及び提供	29	宿泊施設や飲食店でのあゆメニュー開発・提供 馬路温泉をはじめとする宿泊施設や飲食店において、あゆを活用したプランやメニューを開発し、利用客に提供	※馬路村(一社)馬路温泉運営協会	開発したプラン・メニューの提供	開発したプラン・メニューの提供	開発したプラン・メニューの提供	開発したプラン・メニューの提供	開発したプラン・メニューの提供	馬路温泉あゆ活用プランの宿泊者数 80名 ↓ 100名		
					30	あゆづくしランチでの新メニューの提供 アユづくしランチなどでの塩焼き以外のメニューでの提供の実施	※四万十町委託事業者 町内飲食店	新メニューの開発に向けた調整	あゆづくしランチなどで新メニュー提供	あゆづくしランチなどで新メニュー提供	あゆづくしランチなどで新メニュー提供	あゆづくしランチなどで新メニュー提供	あゆづくしランチの提供回数 年2回以上 ↓ 年3回以上		
					31	あゆづくしランチでの新メニューの提供 アユづくしランチなどでの塩焼き以外のメニューでの提供の実施(再掲)	※四万十町委託事業者 町内飲食店	新メニューの開発に向けた調整	あゆづくしランチなどで新メニュー提供	あゆづくしランチなどで新メニュー提供	あゆづくしランチなどで新メニュー提供	あゆづくしランチなどで新メニュー提供	あゆづくしランチの提供回数 年2回以上 ↓ 年3回以上		
	釣	①子どもたちがあゆに親しむことができる環境づくり	◎子ども向け釣り教室等の開催	32	子供が楽しめる体験メニューの提供 あゆつかみ取り体験、投げ網体験等、子供が楽しみながらあゆに親しめる体験メニューの提供	※四万十市 四万十川西部漁協 四万十川中央漁協 四万十川漁業振興協議会	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施	体験メニューの商品化 ↓ 1件		
				33	◎幼稚園等でのあゆのつかみ取り体験等の実施	※奈半利川淡水漁協	幼稚園単位での開催に向けた調整	あゆのつかみ取りの開催(3~4回程度)	あゆのつかみ取りの開催(3~4回程度)	あゆのつかみ取りの開催(3~4回程度)	あゆのつかみ取りの開催(3~4回程度)	あゆのつかみ取りの開催(3~4回程度)	あゆのつかみ取りの開催(3~4回程度)	参加児童数 120名 ↓ 120名	
				34	◎あゆのつかみ取りの実施 あゆまつりでのあゆのつかみ取り(小学生以下)の実施	※四万十町 アユまつり実行委員会	あゆまつりの開催に向けた調整・協議	あゆまつり開催	あゆまつり開催	あゆまつり開催	あゆまつり開催	あゆまつり開催	あゆまつり開催	あゆまつり開催	つかみ取り実施回数 ↓ 年1回以上の開催
				35	◎友釣り甲子園の開催	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合 連合会、四万十川上流淡水漁業協同組合 他	開催に向けた調整	友釣り甲子園開催(7/31)	町長杯友釣り大会(9/11)	町長杯友釣り大会(9/11)	町長杯友釣り大会(9/11)	町長杯友釣り大会(9/11)	町長杯友釣り大会(9/11)	町長杯友釣り大会(9/11)	友釣り大会の開催回数 ↓ 年2回以上の開催
				36	◎あゆ漁インストラクターの育成	※協議会	取り組み内容について協議会委員と協議	インストラクター育成の要望確認	インストラクター育成の要望確認	インストラクター育成の要望確認	インストラクター育成の要望確認	インストラクター育成の要望確認	インストラクター育成の要望確認	インストラクター育成の要望確認	(今後設定)
	②県内遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎若い世代(特に女性)をターゲットとした簡易な服装や道具で友釣りができるライトスタイルの提案及び広報	◎祖父世代から孫世代への釣り文化や釣り道具の継承に向けたイベントの開催	37	ライトスタイルの提案及び広報 釣具屋、関係団体と連携したライトスタイルの提案及び広報(要調整)	※協議会	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	(今後設定)		
				38	釣り道具の継承 釣り文化や釣り道具の継承に向けた検討	※協議会	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	(今後設定)	
				39	◎あゆ釣り師養成講座の開催	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合 連合会、四万十川上流淡水漁業協同組合 他	開催に向けた調整	友釣り甲子園開催(7/31)	町長杯友釣り大会(9/11)	町長杯友釣り大会(9/11)	町長杯友釣り大会(9/11)	町長杯友釣り大会(9/11)	町長杯友釣り大会(9/11)	友釣り甲子園の開催回数 ↓ 年1回以上の開催	
	③県外遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎電子遊漁券の導入拡大や共通遊漁券の設定	◎キャンプ場であゆ釣り体験及びあゆバーベキューが出来る仕組みづくり(再掲)	40	川漁体験の実施 四万十川財団が開催する川漁大人塾への協力	※四万十町 四万十川財団	川漁体験としての大人塾開催への協力(うなぎ漁)	川漁体験としての大人塾開催への協力(うなぎ漁)	川漁体験としての大人塾開催への協力(うなぎ漁)	川漁体験としての大人塾開催への協力(うなぎ漁)	川漁体験としての大人塾開催への協力(うなぎ漁)	川漁体験としての大人塾開催への協力(うなぎ漁)	あゆに関する大人塾開催回数 3回 ↓ 3回		
				41	漁協による電子遊漁券の導入支援 電子遊漁券の導入の検討(四万十川上流淡水漁協)	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	電子遊漁券の導入の検討	電子遊漁券の導入の検討	電子遊漁券の導入の検討	電子遊漁券の導入の検討	電子遊漁券の導入の検討	電子遊漁券の導入の検討	電子遊漁券の導入の検討	電子遊漁券の導入 ↓ 導入の意思決定	
				42	◎キャンプ場でのあゆの提供 ・オートキャンプ場ウエル花夢で予約制であゆの提供の実施 ・観光庁補助事業(サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業)での体験メニュー商品造成 ※現在任意団体で申請中(再掲)	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花夢 他町内の管理者が常駐するキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供	予約制でのBBQセットへのアユ提供	予約制でのBBQセットへのアユ提供	予約制でのBBQセットへのアユ提供	予約制でのBBQセットへのアユ提供	予約制でのBBQセットへのアユ提供	体験メニューの商品化 ↓ 1件以上		

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				現状値(R3) ↓ 到達目標(R4)									
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	到達目標(R4)									
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	釣り	③県外遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	43	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。講座の中で、受講生の取材先として漁協を設定することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。また、鏡川のプロモーション活動を実施することで、あゆに関する情報を発信する。	※高知市	契約準備、契約(4月～6月)	事業告知、受講生募集等(7月)	第1回講座(8月)	第2回講座(10月)	第3回講座(12月)	第4回講座(2月)	業務報告等(3月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 100回 ↓ 200回						
								電子地域ポイントを活用した情報発信 鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ほっちゃん」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わり方の促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。 ※高知市は「まちのコイン」の運営団体						コインの配布、回収、スポット申請の承認、スポット及びユーザーの開拓等(通年)						関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 100回 ↓ 200回	
														漁協からのスポット申請の承認、体験チケットの発行等(4月～6月)							
														体験チケットの発行、コインの配布、回収等(7月～)							
														四万十川漁業振興協議会を活用した情報発信							情報発信の実施 ↓ 町HPでの情報発信の実施
							四万十川東部漁協HPによるあゆ釣果情報等の発信														
	情報発信	①SNSやイベントを活用した情報発信		◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの発信及び提供	④「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催等 全国200店舗の「応援の店」での高知フェア、シェフグループ活動でのメニュー開発や情報発信を実施	46	※水産産業振興課 地産地消・外商課	県内参画事業者の情報収集	フェア参加店舗の募集、フェアメニューの開発・決定	高知フェア(全国200店舗)の開催(10月～11月)				あゆをテーマとしたグループ活動 ↓ 1グループ							
								シェフグループの形成(5グループ)	県内参画事業者と連携したシェフグループ活動(メニュー開発、フェア開催など)の実施				シェフグループ活動報告								
															SNSやHP等での情報発信						SNS・HPでの記事・動画閲覧数 ↓ 10万件以上
															あゆPR動画の制作(5月～10月)、販促資材						
◎観光コンベンション協会等の団体やあゆに関わりの深い著名人と連携したSNSによる情報発信				⑤県産あゆの効果的な情報発信 あゆが食べられる飲食店等の情報収集・発信やインフルエンサーと連携したSNSでの県産あゆの情報発信等を実施(再掲)	47	※水産産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産地消・外商課 観光コンベンション協会	企画提案(プロボ)	あゆが食べられる飲食店等情報の収集・整理(5～8月)	HP等での情報発信												
														インフルエンサーによるSNSでの情報発信(6～10月)							
◎観光コンベンション協会等の団体やまるごと高知と連携したイベントによる情報発信				⑥「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催等 全国200店舗の「応援の店」での高知フェア、シェフグループ活動でのメニュー開発や情報発信を実施(再掲)	48	※水産産業振興課 地産地消・外商課	県内参画事業者の情報収集	フェア参加店舗の募集、フェアメニューの開発・決定	高知フェア(全国200店舗)の開催(10月～11月)				あゆをテーマとしたグループ活動 ↓ 1グループ								
							シェフグループの形成(5グループ)	県内参画事業者と連携したシェフグループ活動(メニュー開発、フェア開催など)の実施				シェフグループ活動報告									
◎あゆに関する情報の定期的な発信やシンポジウムの開催				⑦SNSやHPを活用した定期的な情報発信 村のInstagram、ホームページを活用し、あゆに関する情報を定期的に発信	49	※馬路村	漁期前の川の状況を発信	あゆ漁の風景を撮影(写真・動画)				Instagramを活用したあゆに関する情報発信数 1回 ↓ 20回以上									
													あゆ漁の写真及び動画をInstagram、ホームページで発信								
◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信(再掲)				⑧関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信(再掲)	50	※高知市	契約準備、契約(4月～6月)	事業告知、受講生募集等(7月)	第1回講座(8月)	第2回講座(10月)	第3回講座(12月)	第4回講座(2月)	業務報告等(3月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 100回 ↓ 200回							

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				現状値(R3) ↓ 到達目標(R4)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	情報発信	①SNSやイベントを活用した情報発信	◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信(再掲)	51	電子地域ポイントを活用した情報発信 鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ぼっちり」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わりの促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。(再掲) ※高知市は「まちのコイン」の運営団体	※高知市					関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 100回 ↓ 200回
					52	流域関係者で組織する協議会を活用した情報発信 流域漁協、行政での協議組織(漁業振興協議会)を活用した各調査結果等の情報発信(再掲)	※四万十町 四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合					

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				現状値(R3) ↓ 到達目標(R4) (今後設定)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
2	高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり	加工・流通販売	①県内各河川のあゆを一元的、安定的に供給するための流通体制の構築	◇集出荷システム及び冷凍加工体制の構築	1	集出荷システムの構築 安定的な販売と魅力的な商品づくりに向けて複数河川のあゆを集出荷できる体制の構築を検討(要確認)	※協議会	作業部会の開催による取り組みの検討	実施主体との調整、集出荷試験の実施	試験結果の検証	次年度に向けた取り組み検討	(今後設定)	
				◇県内の商品を扱う地域商社などとの連携	2	県外での販売促進 ・地域商社と連携したあゆの販売促進活動の実施(再掲)	※四万十町	地域商社と連携したイベントや商談会への参加					地域商社と連携した商談による成約件数 ↓ 1件以上
			②高知県のあゆのブランド化と県外へのPR及び販売	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの発信及び提供(再掲)	3	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催等 全国200店舗の「応援の店」での高知フェア、シェフグループ活動でのメニュー開発や情報発信を実施(再掲)	※水産業振興課 地産外商社	県内参画事業者の情報収集 フェア参加店舗の募集、フェアメニューの開発・決定 高知フェア(全国200店舗) シェフグループの形成(5グループ) 県内参画事業者と連携したシェフグループ活動(メニュー開発、フェア開催など)の実施 シェフグループ活動報告					あゆをテーマとしたグループ活動 ↓ 1グループ
				◎複数河川のあゆ食べ比べセットの商品化及び個人向け販売	4	あゆ食べ比べ商品の開発 あゆの認知度向上や取引拡大につなげるため、食べ比べセット等の商品化に取り組む	※協議会	作業部会の開催による取り組みの検討	実施主体との調整、商品化・試験販売の実施	試験結果の検証	次年度に向けた取り組み検討	(今後設定)	
			◎県や地産外商社が主催・出展する商談会への参加による販路の確保及び拡大	商談会への参加 県や地産外商社が主催する商談会への参加	5	商談会への参加	※四万十町	町地産外商室の行う県外での営業活動であゆの取扱量を増やしていく(再掲)					商談会への参加 ↓ 1回以上
				商談会への参加による販路開拓・販売拡大 高知県(地産地消・外商課)、高知県地産外商社主催の商談会に参加して、販路開拓や販売拡大につなげる <令和4年度> ○土佐の宴(大阪市):9月27日 ○県産品商談会(高知市):10月26日 ○土佐の宴(名古屋市):11月1日	6	※地産地消・外商課 あゆ関連事業者 水産業振興課 地産外商社	出展者募集(約2か月前から) ○9月27日:土佐の宴(大阪) ○10月26日:県産品商談会(高知) ○11月1日:土佐の宴(名古屋) (県・公社)協議会への情報共有 (県・公社)商談後のフォローアップ					商談会開催回数 3回 ↓ 3回	
				◇地域商社等と連携した加工品の開発や外商活動	7	豊洲市場への活あゆ出荷 豊洲市場への活アユ等の出荷を継続(再掲)	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よつて西土佐	豊洲市場への活アユ等出荷				豊洲市場へのあゆ出荷量 211.5kg ↓ R3同程度の量を出荷	
			③消費者と直接つながる販売チャネルの創出及び長期的なファンづくり	◎県版ふるさと納税での月替わり、川替わりでのあゆの提供	ふるさと納税でのあゆの提供	9	※水産業振興課 政策企画課 市町村 漁協	政策企画課との調整 事業者との協議 県版ふるさと納税でのあゆの提供(6月~10月) 次年度に向けた事業者との協議					県版ふるさと納税でのあゆの提供開始
					◎流域市町村におけるふるさと納税返礼品への利用拡大	10	※奈半利川淡水漁協	あゆの確保に向けた生け簀の整備 ふるさと納税への提供に向けた協議 次年度に向けた、集荷体制等の検討				ふるさと納税でのあゆの出荷尾数 ↓ 1,000尾	
			◎あゆに関する情報の定期的な発信やシンポジウムの開催(再掲)	◎あゆに関する情報の定期的な発信やシンポジウムの開催(再掲)	ふるさと納税でのあゆ加工品の出品	11	※四万十市 四万十川西部漁協	アユ加工品の開発、ふるさと納税返礼品への出品					新商品の開発件数 1件 ↓ 1件
					ふるさと納税でのあゆの提供	12	※馬路村	出品時期・数量について協議 出品準備 あゆを返礼品として提供(漁獲状況により提供期間を決定する)				ふるさと納税寄付件数・金額 5件・5万円 ↓ 10件・10万円	
					ふるさと納税でのあゆの提供	13	※仁淀川町	ふるさと納税でのあゆの取扱量を増加させるためのPR等の検討				ふるさと納税寄付件数 120件 ↓ 132件(110%)	
			◎あゆに関する情報の定期的な発信やシンポジウムの開催(再掲)	◎あゆに関する情報の定期的な発信やシンポジウムの開催(再掲)	ふるさと納税でのあゆの提供	14	※四万十町	ふるさと納税でのあゆの取扱量を増加させるためのPR等の検討				ふるさと納税寄付件数(あゆ・あゆ加工品) 467件 ↓ 467件	
					SNSやHPを活用した定期的な情報発信	15	※馬路村	漁期前の川の状況を発信 あゆ漁の風景を撮影(写真・動画) あゆ漁の写真及び動画をInstagram、ホームページで発信			あゆに関する情報(料理、レストラン、漁期等)をInstagram、ホームページで発信	Instagramを活用したあゆに関する情報発信数 1回 ↓ 20回以上	

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				現状値(R3) ↓ 到達目標(R4)				
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期					
3	高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり	加工・流通販売	①子どもたちが川に親しむ学習などの実施	◎学校、地域、漁協、行政の連携による漁業体験及び環境学習の実施	1	鏡川わくわくツアーの実施 ツアーののの実施により、鏡川の水質調査やアユの塩焼き体験を通して身近な自然に対する愛着や保全意識の向上を図る	※高知市 鏡川漁業協同組合	入札、契約 (4月～6月)	環境学習会実施、動画制作(7月～8月)	報告、検査等 (12月)			参加者数 12人(令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、令和2年度の実績) ↓ 12人(現状維持)			
					2	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携して講座を実施するとともに、受講生自身に鏡川流域への関わり方を考えてもらうことで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市	契約準備、契約 (4月～6月)	事業告知、受講生募集等(7月)	第1回講座 (8月)	第2回講座 (10月)	第3回講座 (12月)	第4回講座 (2月)	業務報告等 (3月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 100回 ↓ 200回	
					3	漁業体験及び環境学習の実施 ・市内小学校が実施する環境学習に講師(四万十川財団)を派遣し、環境学習を支援 ・市内小・中学生とその保護者を対象に、四万十川中央漁業協同組合協力のもと、あゆのつかみ取り・投網漁体験を実施	※四万十市 四万十川財団 四万十川中央漁協	環境学習支援事業					親子川漁体験	親子体験教室の開催 ↓ 1回以上開催		
					4	地域学習への川漁や環境学習の導入 協働の川づくり事業による中学生の地域学習への川漁や環境学習の導入(四万十川財団)	※四万十町 四万十川財団 地域住民	水生生物調査や環境学習を通じた川との関わりへの協力					四万十川支流での通年で水生生物の生息状況調査	環境学習の実施 要望のある全ての学校で実施 ↓ 要望のある全ての学校で実施		
					5	環境学習会の実施 学校と連携し、環境学習会を実施(物部川、仁淀川、四万十川流域)	※自然共生課 舟入小学校 越知小学校 越知中学校 衛生環境研究所 中村高校西土佐分校 (公財)四万十川財団	実施内容協議	実施					実施内容協議	実施	2校(新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により一部中止) ↓ 4校
					6	あゆ種苗放流体験の実施 あゆ種苗放流の一部を村内保育所の児童による放流体験とする。	※馬路村 馬路保育所 安田川漁協	放流の方法、安全管理の協議	放流体験の実施						体験回数 ↓ 1回	
					7	あゆ放流体験の実施 あゆ放流の一部を村内小学校の児童による放流体験として実施。	※三原村 三原村商工会 三原小学校	放流時期等の協議	放流体験の実施						体験回数 ↓ 1回	
					8	②大人の学習・体験機会の創出	◇あゆや河川資源を題材とした文化教育イベント(俳句・絵画・写真・書道展、環境学習展)の開催	※高知市	契約準備、契約 (4月～6月)	事業告知、受講生募集等(7月)	第1回講座 (8月)	第2回講座 (10月)	第3回講座 (12月)	第4回講座 (2月)	業務報告等 (3月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 100回 ↓ 200回
					9	◎漁協や企業と連携した産卵場造成体験、産卵見学会、遡上観察会等の実施とあゆオーナー制度の導入	あゆオーナー制度の実施 四万十川上流淡水漁業によるあゆオーナー制度の実施	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	あゆオーナーの募集				オーナーへのあゆの提供			

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱4 高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				現状値(R3) ↓ 到達目標(R4) 取り組みの検討 ↓ 取り組みの方向性の決定
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
4	高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり	加工・流通販売	①あゆ資源の持続的活用に向けた資源回復・保全策の実施	◎流域全体の総意に基づく資源回復策の実施に向けた関係者間の協議	1	官民一体となって河川資源回復の取り組みを実施 四万十川漁業振興協議会が中心となり、行政、学識経験者等の協力を得て、河川環境改善、資源回復に向けて取り組む	※四万十市 四万十川漁業振興協議会	四万十川漁業振興協議会の開催 → 資源回復に向けた取り組みの検討				取り組みの検討 ↓ 取り組みの方向性の決定
					2	基礎調査の実施と関係者による協議 資源回復のための基礎調査の実施と情報共有、漁業振興協議会での流域内漁協と行政での意見交換	※四万十町 委託事業者 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	中期的な資源調査の実施と、調査結果に基づく回復策についての提案・協議の場の設定				協議会の開催 1回 ↓ 1回
					3	産卵場整備 環境・生態系保全対策事業費交付金を「鏡川環境保全の会」に交付し、産卵場整備の実施状況等の確認等を行う。	※高知市 高知県 鏡川漁業協同組合	計画承認 → 交付決定	体験学習会 (実施状況確認) (9月)	堆積土砂整備、河床の攪拌による瀬と淵の効果の検証(実施状況確認)(10月)	実績報告等	整備面積 6,579㎡ ↓ 6,579㎡(現状維持)
					4	CATV等での資源保全活動のPR 町CATVなどでの活動のPR	※四万十町 委託事業者 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	カワウ追払いの実施				カワウ駆除数 34羽 ↓ 46羽 (四万十町管内分)
					5	あゆオーナー制度の実施 四万十川上流淡水漁協によるあゆオーナー制度の実施(再掲)	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	あゆオーナーの募集	オーナーへのあゆの提供			オーナー制度参加者数 40人 ↓ 50人
					6	あゆ人工種苗放流の継続に向けた関係団体との協議 あゆ人工種苗放流量の増加に向けて関係団体との協議を実施	※水産業振興課 内水面漁業協同組合連合会 漁協 市町村	種苗生産の現状を整理	関係団体への説明	要望調査等の実施		市町村等によるあゆ種苗放流量 34.7トン ↓ 35.7トン
					7	あゆ資源回復に向けた検討 鏡川清流保全環境調査委託業務により、鏡川におけるあゆの遡上状況及び産卵場の調査を行い、あゆ資源回復に向けた対策を検討	※高知市 鏡川漁業協同組合	入札、契約(4月) あゆの遡上状況調査(5月)	中間報告(6月)	あゆの産卵場調査(11月)	中間報告(12月)	最終報告等(2月～3月)